

## Chapter

# 02

## STUDY PLAN-13T 入学生

01.カリキュラムの概要	021
02.履修申請	022
03.成績表の見方	027
04.卒業要件単位数(外国人留学生も共通)	028
05.実践研究	031
06.卒業見込証明書	031
07.資格取得	032
08.カリキュラム	035

# 01. カリキュラムの概要

スポーツ健康学科のカリキュラムは、人間環境学部の他の2学科と同様に、基本科目、展開科目、実践科目の3つから成る。

基本科目では、大学で学ぶ事柄の基礎となる科目を配置している。スポーツ健康学科の学生として修得しておくべき科目であるから着実な学習を期待する。

展開科目では、スポーツ健康学科における特徴的な科目を配置している。ここでは、学科での専門的学習に共通する科目と、スポーツ支援コース、健康支援コース、健康・スポーツマネジメントコースの3つのコースに通じる科目とが配置されている。スポーツ健康学科の3つのコースは、どれか一つに絞って深く学ぶこともできるが、学生の希望に応じて複数のコースにまたがってそれぞれの科目を広く学ぶことも可能である。そうした意味では学生の自由度はかなり大きい。ただ、学生はいずれかのコースにおいて、そのコースの必修科目2つを修得しなければならない。この点は注意を要する。

最後は実践科目について述べる。人間環境学部の特徴でもあるフィールドスタディやフィールドワークでは、専門領域への興味をかきたてる実践学習や体験学習が用意されている。1年次は基本的な分野を学ぶことになるが、学年が進むにつれてより専門的内容の実践学習へと特化されて行くであろう。継続的に実践科目を修得することにより、社会に出てからの即戦力を身に付けられるように工夫されている。

以下に各コースの概要を示すので履修の参考にして欲しい。

## スポーツ支援コース

スポーツに関わる科目では、オリンピック・世界選手権などの国際大会の出場経験者や、日本最高峰のスポーツリーグでの活動経験を有する教員が配置されている。スポーツを学び将来スポーツ指導者になることを夢に描く学生においては、かけがえのない非常に興味深い講義が展開されることが期待される。

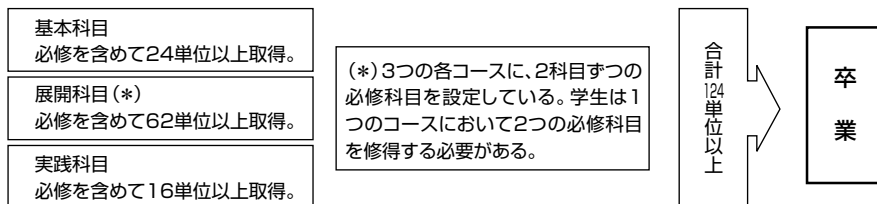
## 健康支援コース

健康に関わる科目では、保健に関わる専門家やスポーツ医学の専門医師、循環器リハビリの専門家などが実地で役立つ内容を教授する。厚生労働省も健康づくりには「1に運動、2に食事…」というスローガンを掲げているように、運動・栄養・休養のバランスが大切であることは明白であり、これを基に様々な健康づくり政策を講じている。今後はスポーツと健康をバランスよく学んだ人材が活躍する場が増えることが期待される。

## 健康・スポーツマネジメントコース

健康・スポーツマネジメントに関わる科目では、企業においてスポーツ社会学やスポーツ経営学を実践してきた教員が講義を主導する。スポーツ産業界や企業スポーツにおいてはマネジメント能力を有する人材は必須である。加えて、文部科学省などでは地域スポーツ振興政策を推し進めているので、こうした現場で健康・スポーツを正しく理解し、なおかつマネジメント能力を発揮する人材は貴重である。

本学科では、教員資格をはじめ各種の資格にチャレンジできるシステムを用意している。ハンドブックの資格の項目を参考にして、積極的に取り組んでいただくと幸いです。



## 02. 履修申請

- ・「履修申請」とは、自分が受けたい授業科目を申込みことです。
- ・「履修申請」は、本年度の学習方針を決定するだけでなく、次年度以降の履修にも影響しますので、履修制限等をよく読んだ上で、自分の時間割の計画を立てて申請してください。
- ・大学では必修科目等を除いて、一定の枠の中から受けたい科目を選択できるようになっています。
- ・申請期限までに所定の手続きを行わなかったり、間違ったりすると、授業に出席して、試験を受けても単位が認められませんので、慎重に行ってください。
- ・申請の手順については、別に配布するWeb履修申請ガイドブックをご覧ください。

### (1) 履修計画における注意点

- ①履修する科目を選ぶために、事前に「Webシラバス」をよく読んでください。
- ②各時間帯に開講されている授業科目の中から自分が受けたい科目を選び、選んだ科目を各自で履修申請してください。学生1人1人の時間割の内容は、同じ学部・学科であっても違ったものになります。
- ③同じ学部・学科でも、コースによって選択すべき科目が異なります。各コースの履修要件、卒業要件をよく読んで履修計画を立ててください。
- ④卒業資格最低単位数(卒業要件単位数)を充足できるよう重点においてください。
- ⑤申請する前に、学籍番号などによって指定されているクラス等を確認してください。
- ⑥各ガイダンスには必ず参加してください。
- ⑦既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

### その他の注意事項

- ・教職関連科目に係わる授業科目のうち、「教育哲学」、「教育心理学」、「道徳教育の研究」および「人権教育」の科目について履修し単位を取得した場合は、8単位まで「現代社会と文化」分野の卒業要件単位に組み入れることができます。
- ・資格取得に必要な授業科目については、カリキュラム表を参照してください。

## (2) 手続方法

### ① 履修計画を立てる

配付資料に基づき履修計画を立て、Web履修申請ガイドブック巻末にある「履修申請下書き用紙」に記入します。また、履修したい講義がクラス登録科目である場合には、同じく巻末にある「クラス登録応募下書き用紙」に記入します。講義科目の中には、学籍番号や学年により履修が制限されているもの、履修する講義が予め指定されているもの、抽選により履修者を決定するもの、プレースメントテストの結果により履修指示が為されるもの等、さまざまなタイプがあります。これらの情報は、講義時間割の備考欄等に記載されています。

### ② 登録手続き（3つの期間（順序）に分けて行う）

#### a. クラス登録科目応募

抽選により履修者を決定するタイプの科目は、履修申請に先立ち応募受付を行い、抽選処理を行います。抽選の結果、当選した場合に限り履修することができます。なお、当選した講義（クラス）は履修を取り消すことができません。詳細は、巻末の「クラス登録応募下書き用紙」をご覧ください。

#### b. 本申請

履修計画（下書きした時間割）に基づいて、コンピュータを操作し講義を登録してください。申請画面を開くと履修可能な講義が表示されています。（内容は学生ごとに異なります。）同時に、抽選により受講を許可された講義と既決履修講義が表示されています。これらの講義は、取り消すことができません。なお、期間内なら何度でも登録内容を変更することができます。登録が完了したら内容を印刷し、保管しておいてください。

#### c. 修正

登録した講義を修正（追加、削除）することができます。但し、抽選により履修が決定した講義、既決履修講義は取消できません。修正が完了したら、必ず登録内容を印刷してください。

#### 【クラス登録の要領について】

- ・講義時間割の科目名左側に「●」「○」「◎」印がある講義の履修を希望する場合は、本申請に先立ちクラス登録が必要です。
- ・クラス登録は、応募受付⇒抽選⇒発表（本申請時には、当選した科目が画面に自動表示されています。）の順で行われます。
- ・当選した講義はキャンセルすることができません。また、はずれた方は、本申請期間または修正期間に残席がある場合に限り先着順で登録できます。

## ③その他の注意事項

## ■コミュニケーション英語科目、ドイツ語科目の単位認定について

＜受講時の注意＞:単位認定には、以下の2つの方法があります。

- ① 出欠席を厳しくとります。英語の場合、1セメスターで特別な理由なく4回欠席した者には単位を与えません。また、30分以上の遅刻は出席とみなしません。
- ② 英語・ドイツ語は、次の資格を取得した者に、コミュニケーション英語科目あるいはドイツ語科目の所定の単位を認定します。

有する資格	認定科目	備考
英検2級又はTOEIC500点以上	コミュニケーション英語1・2	これ以外の資格は対象としません。
英検準1級又はTOEIC530点以上	コミュニケーション英語1・2・3・4	
ドイツ語検定4級	ドイツ語1	
ドイツ語検定3級	ドイツ語1・2・3	

## 1)単位認定の申請方法

各資格認定書の原本(コピーを取り次第返却します)を代表教員に提出してください。

## 2)評価の方法

「S」評価を与えます。

### (3) 自由科目

他学部（自分の所属する学部以外）および他学科（自分の所属する学科以外）の専門教育科目（人間環境学部は展開科目）を、卒業までに30単位まで履修することができます。そのうち8単位までを、展開科目「学部共通科目」の卒業要件単位として算入することができます。編入生は、単位を修得した自由科目のうち、4単位までを展開科目「学部共通科目」の卒業要件単位として算入することができます。（これを「自由科目」と称します。）ただし、履修の認められない科目がありますので、下表で確認してください。

自由科目を履修したい人は、Webシラバスをよく読んで選択してください。

自由科目は、Web履修申請画面で確認できる（表示されている）科目から選択してください。

#### スポーツ健康学科

他学部	他学科	卒業要件に認められる単位	自由科目として扱わない科目
——	文化コミュニケーション、生活環境	8単位 (編入生は 4単位)	各学科の事情等により除外する科目
経営	経営、商		
経済	経済、国際経済		
デザイン工	情報システム、建築・環境デザイン		
工	機械工、交通機械工、都市創造工、電子情報通信工		

## (4) 履修制限

スポーツ健康学科には以下の履修制限がありますので、注意してください。

### 13T学生に適用

各セメで履修できる単位数		最大26単位/セメ(身体科学実習、集中、教職を除く):年間50単位
学年(セメスター)による科目の制限		1セメ:1セメ配当科目から履修することができます。 2セメ:1~2セメ配当科目から履修することができます。 3セメ:1~3セメ配当科目から履修することができます。 4セメ:1~4セメ配当科目から履修することができます。 5セメ:1~5セメ配当科目から履修することができます。 6セメ:1~6セメ配当科目から履修することができます。 7セメ:1~7セメ配当科目から履修することができます。 8セメ:すべての科目から履修することができます。 ※ただし、前・後期によって開講していない科目、制限のある科目は履修することができません。
基本科目	コミュニケーション英語分野	■「コミュニケーション英語1・2」を必修としますが、留学生は選択科目とし、履修しなくてもかまいません。
	日本事情分野 日本語分野	■留学生は、「日本事情1~3」、「日本語1~4」、「上級日本語1~4」を必修科目とします。 ■留学生以外は履修することができません。
展開科目	スポーツ健康科目分野	■スポーツ支援、健康支援、健康・スポーツマネジメントの3コースのうち、1つのコースから必修2科目を修得します。 ■残りの2コースの必修科目は選択必修科目として扱います。 ■「スポーツ科学実習(水泳2)」、「スポーツ科学実習(野外2)」のどちらかを修得しなければなりません。
実践科目	卒業研究分野	■「実践研究3」は、第6セメスター修了以降、一定の条件を満たしていなければ履修することができません。 ■「実践研究3」を修得していなければ「実践研究4」を履修することはできません。
資格支援科目		■教職関連科目に係る授業科目のうち、「教育哲学」、「教育心理学」、「道徳教育の理論と方法」および「人権教育」の科目については、基本科目区分の現代社会と文化分野の卒業要件単位数に、「生涯学習論」については、展開科目区分の学部共通科目分野のキャリア教育に、「保健体育科教育法I~IV」については、展開科目区分のスポーツ健康科目分野に算入します。
その他		既に単位認定を受けた科目を、再度履修することはできません。

※未開講科目については、掲示またはポータルシステムで案内します。

## 03. 成績表の見方

- ・発表される「成績表」は、当該年度の前期末、または学年末までの成績です。
- ・単位左側の文字の「必」は必修科目、「選必」は選択必修科目、「選」は選択科目を表わします。
- ・成績欄右寄りの評価は「今年度の成績」、中央の評価は「昨年度までの成績」を表わします。
- ・評価・認定は、「S」「A」「B」「C」「D」「T」で判定します。

### 修得単位数欄

卒業要件単位数	卒業に必要な単位数
修得卒業要件単位数	現在修得している全ての単位のうち卒業要件としてカウントされた単位数
修得総単位数	現在修得している全ての単位数

### 進級・卒業判定欄

1セメ・2セメ	3セメ・4セメ	5セメ・6セメ	7セメ・8セメ	卒業
1年	2年	3年	4年	卒業できる

### 来年度欄(6セメ以上)

卒見証発行	有	無		
	卒業見込証明書発行可	卒業見込証明書発行不可		
卒研資格	有	無	済	
	卒業研究履修資格有	卒業研究履修資格無	卒業研究修得済	

- ・卒業研究履修資格欄(6セメ以上)

学年末に発表する成績表には、次年度の「卒業研究」履修の可が表示されます。



# 04. 卒業要件単位数(外国人留学生も共通)

卒業するためには、以下の2つの条件を満たさなければなりません。

①4年間(編入生は2年間)以上在学

休学期間は在学年数に含まれません。したがって、半期でも休学すると4年(編入生は2年)で卒業することができません。

②学科で定められた卒業要件単位124単位以上(編入生は別途定める)を修得

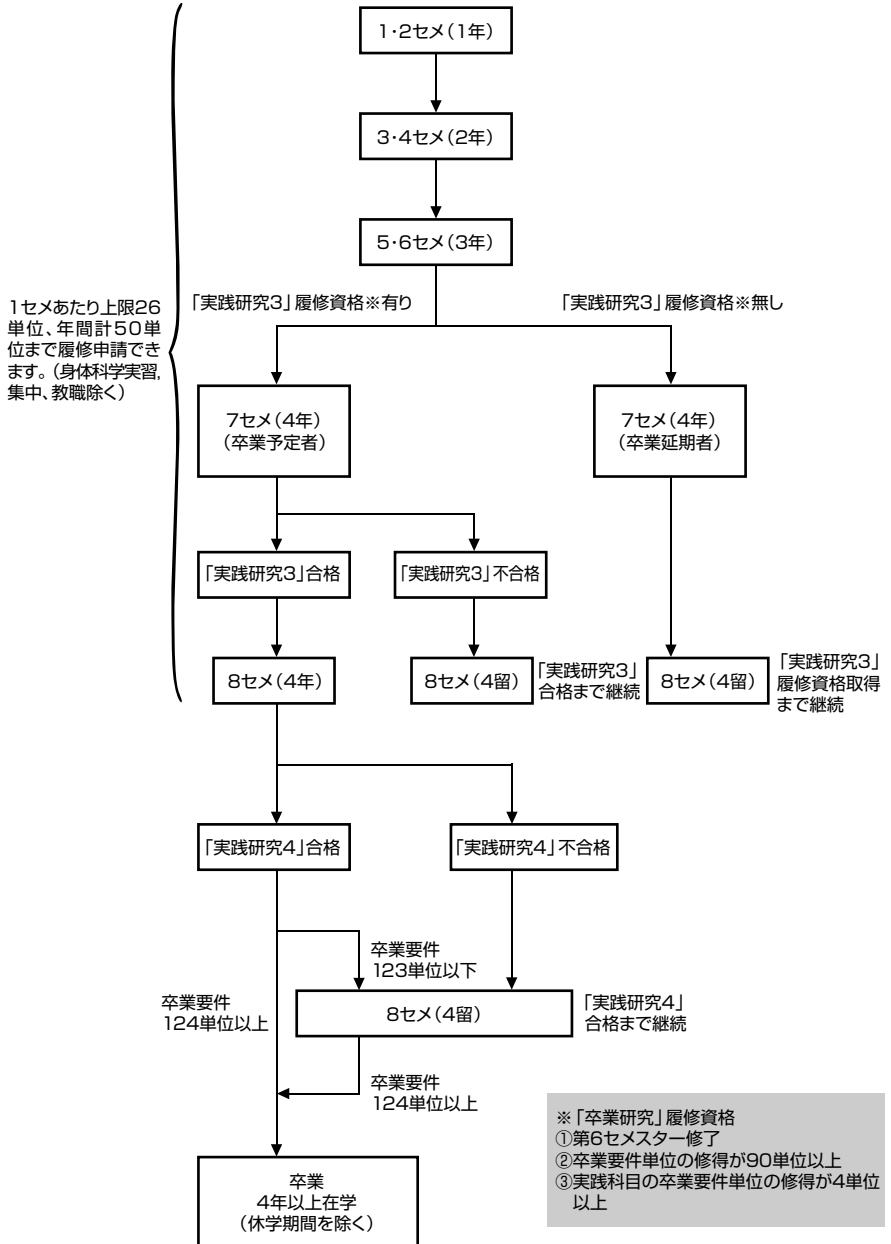
カリキュラム上、区分ごとに卒業に必要な単位数が異なります。履修の仕方によっては単位を修得しても卒業要件単位に入らない場合がありますので、注意してください。

## (1) 卒業要件単位数

基本科目	人間環境の基礎		8単位以上	24 単 位 以 上	124 単 位	学 士 ( 体 育 学)
	コミュニケーション英語		2単位以上(留学生は要件なし)			
	言語文化					
	現代社会と文化		6単位以上			
	日本事情					
	日本語		8単位(留学生に限る)			
展開科目	スポーツ健康科目	身体科学実習	25単位以上(必修24単位と「スポーツ科学実習(水泳2)」または「スポーツ科学実習(野外2)」のどちらか1科目1単位を含む)	62 単 位 以 上		
		身体基礎科学				
		スポーツ支援コース	12単位以上(いずれかのコースの必修4単位を含む)			
		健康支援コース				
	健康・スポーツマネジメントコース					
学部共通科目		4単位以上(自由科目8単位を含む)				
実践科目	フィールド演習		8単位以上	16 単 位 以 上		
	コンピュータ演習		4単位以上			
	卒業研究		4単位以上			
4年以上在学						

## (2) 進級の条件

— 進級および卒業までの流れ —



### (3) 卒業要件単位の履修要件

#### 【基本科目】24単位以上

①必修科目(卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。)

「身体環境学概論」、「コミュニケーション英語1・2」の計3科目4単位を、留学生は「身体環境学概論」、「日本事情1～3」、「日本語1～4」、「上級日本語1～4」の計12科目16単位を必ず修得してください。

②選択必修科目(特定の科目群から指定された単位を修得します。)

必修科目以外に、人間環境の基礎分野から6単位、現代社会と文化分野から6単位、計12単位を、留学生は、人間環境の基礎分野から6単位を修得してください。留学生は、現代社会と文化分野から単位を修得しなくてもかまいません。

③選択科目(必修、選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)

①②以外に、8単位以上を修得してください。留学生は、2単位以上を修得してください。選択必修科目の要件単位を超えた単位は選択科目の単位に算入されます。

#### 【展開科目】62単位以上

①必修科目(卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。)

スポーツ健康科目分野の身体科学実習から12単位、身体基礎科学から12単位、スポーツ支援、健康支援、健康・スポーツマネジメントの3コースのうち**1つのコース**から必修4単位、計28単位を必ず修得してください。

②選択必修科目(特定の科目群から指定された単位を修得します。)

「スポーツ科学実習(水泳2)」または「スポーツ科学実習(野外2)」のいずれか1科目1単位、スポーツ健康科目分野のスポーツ支援コース、健康支援コース、健康・スポーツマネジメントコースから合わせて8単位、学部共通科目分野から4単位、計13単位を修得してください。

③選択科目(必修、選択必修科目以外の中から自由に選んで修得します。)

①②以外に、21単位以上を修得してください。

なお、スポーツ支援コース、健康支援コース、健康・スポーツマネジメントコースの選択しなかったコースの必修科目の単位と、選択必修科目の要件単位を超えた単位については、選択科目の単位に算入されます。

#### 【実践科目】20単位以上

①必修科目(卒業するまでに必ず修得します。カリキュラム表の単位数に○印のついた科目です。)

「コンピュータ基礎演習1・2」、「実践研究3・4」の計4科目8単位を必ず修得してください。

②選択必修科目(特定の科目群から指定された単位を修得します。)

必修科目以外に、フィールド演習分野から8単位を修得してください。

※基本科目(24単位以上)、展開科目(62単位以上)、実践科目(16単位以上)の最低要件単位は合計102単位です。卒業要件124単位に不足する22単位については、各々の最低要件単位数を超えた単位で補ってください。

## 05. 実践研究

---

### (1) 「実践研究3」、「実践研究4」

「実践研究3」、「実践研究4」は必修科目です。(2)の条件を満たした場合、次年度より履修することができます。「実践研究3」、「実践研究4」は、原則同一教員で履修します。

### (2) 「実践研究3」、「実践研究4」の履修資格

第6セメスターを修了して、卒業要件単位の修得が90単位以上、かつ実践科目の卒業要件単位の修得が4単位以上であれば、次年度より「実践研究3」を履修することができます。

「実践研究4」を履修するためには、「実践研究3」を修得しておかなければなりません。

## 06. 卒業見込証明書

---

在学期間が3年以上で、「実践研究3」の履修資格を有する者または既修得者は、4月から卒業見込証明書の交付を受けることができます。

※卒業見込証明書は、就職活動のために訪れる企業などに提出するものです。必要な人は、証明書自動発行機(本館1階、13号館1階)を利用してください。

## 07. 資格取得

本学を卒業、または特定の科目を修得することによって得られる（あるいは取得の要件の1つとなる）資格・免許を一覧表にしましたので、履修コースや履修科目選択の参考にしてください。また、他にも卒業後の実務経験で得られる資格（要申請）、実務経験により受験資格が得られる資格、受験科目の一部が免除される資格など多数あります。それら資格（免許）の職務内容や取得方法に関しては、教育支援センター（5号館1階）で相談してください。

### (1) 教員免許状

免許（資格）の種類	対象学部（学科）	取得の要件
高等学校教諭一種免許状（公民）	文化コミュニケーション学科 生活環境学科	それぞれの免許に定められた教職教科専門科目と教職専門科目の修得。詳細は教職ガイダンスで説明します。
中学校教諭一種免許状（社会）		
高等学校教諭一種免許状（保健体育）	スポーツ健康学科	
中学校教諭一種免許状（保健体育）		

### (2) 学科別認定資格

資格の種類	認定の内容	対象学部	取得の要件
社会教育主事	1年以上社会教育主事補の職につけば、任用資格が与えられます。	人間環境学部	大学に2年以上在学して62単位以上修得し、資格取得のために特に定められた科目を修得した者。

### (3) 特定科目修了により取得できる資格

資格の種類	認定の内容	対象学部	取得の要件
社会福祉主事	任用資格が与えられます。	全学部	・卒業 ・資格取得のためには特に定められた科目を修得してください。

### (4) 本学で実施する資格取得試験など

資格の種類	対象学部	取得の要件・その他
ボランティア・NPO講座	人間環境学部	本学独自の講座で、卒業後、NPO活動、NGOの進路が開けます。講義科目（2科目）、演習科目（2科目）、ボランティア・インターンシップ（夏期集中）の5科目から構成されています。

**(5) 人間環境学部推薦資格**

資格の種類	対象学部	取得の要件・その他
福祉住環境コーディネーター	全学部	年2回、各商工会議所で実施されます。
環境管理士		クリーンな社会の建設を目指し、市民生活、企業、自治体における環境管理のスペシャリストの資格。原則として通信講座を受講し修了試験などの資格審査に合格すると免許登録できます。
環境計量士		年1回実施されています。 人間環境学部に支援授業科目があります。
公害防止管理者		年1回実施されています。水質関係公害防止管理者の資格について、人間環境学部に支援授業科目があります。
初級システム アドミニストレータ		春と秋の年2回、実施されています。
基本情報技術者		

## (6) 支援授業科目

### ①環境計量士

試験内容:「環境計量士」は、濃度関係(化学分野)と騒音・振動関係(物理分野)に分かれる。

・濃度関係

化学の基礎知識、環境・計量関係法規、化学分析概論、濃度の計量、計量管理概論

・騒音・振動関係

物理の基礎知識、環境・計量関係法規、音響・振動概論、音圧レベル・振動加速度レベルの計量、計量管理概論

支援授業科目一覧

環境法、環境制御論・計測論、大気環境論、水環境論、環境と国際協力、化学の基礎

### ②公害防止管理者

試験内容

・水質関係第一種～第四種公害防止管理者

公害概論、水質汚濁関係法令、污水等処理技術一般、水質汚濁関係有害物質処理技術、測定技術

支援授業科目一覧

環境法、環境制御論・計測論、水環境論、環境と国際協力、化学の基礎

### ③初級システムアドミニストレータ・基本情報技術者

試験内容

コンピュータ科学基礎、コンピュータシステム、システムの開発と運用、ネットワーク技術、データベース技術、セキュリティと標準化

支援授業科目一覧

コンピュータの基礎、コンピュータ基礎演習1、コンピュータ基礎演習2、コンピュータ応用演習1、コンピュータ応用演習2

# 08. カリキュラム

## (1) 基本科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考			
				1年次	2年次	3年次	4年次				
				1セ×2セ× (前)!(後)	3セ×4セ× (前)!(後)	5セ×6セ× (前)!(後)	7セ×8セ× (前)!(後)				
基 本 科 目	人 間 環 境 の 基 礎	人間環境学概論	2	24 以上	124	2				※□ ※□          オムニバス	
		文化環境学概論	2				2				
		身体環境学概論	②			2					
		生活環境学概論	2				2				
		経済学の基礎	2				2				
		社会学の基礎	2				2				
		歴史学の基礎	2				2				
		健康管理の基礎	2				2				
		身体科学の基礎	2				2				
		心理学の基礎	2				2				
		体育学の基礎	2				2				
		データ処理の基礎	2				2				
		化学の基礎	2				2				
		生物学の基礎	2				2				
コンピュータの基礎	2		2								

※週時間数欄の数字は、2=週1コマ、4=週2コマの授業があることを示します。1年次には1年次の、2年次には1、2年次の、3年次には1、2、3年次の、4年次には1、2、3、4年次の欄に数字のある科目を履修することができます。ただし、履修制限等により履修できない場合もあります。



区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考						
				1年次	2年次	3年次	4年次							
				1セ×12セ× (前)1(後)	3セ×14セ× (前)1(後)	5セ×16セ× (前)1(後)	7セ×18セ× (前)1(後)							
基 本 科 目	コ ミュ ニ ケ ー シ ョ ン 英 語	コミュニケーション英語1	①	2 (必 修 含 む) 以上	(24 以上)	2				留 学 生 は 選 択 科 目				
		コミュニケーション英語2	①				2					留 学 生 は 選 択 科 目		
		コミュニケーション英語3	1					2						
		コミュニケーション英語4	1						2					
		アドヴァンスト英語1	2				2							
		アドヴァンスト英語2	2					2						
		アドヴァンスト英語3	2					2						
		アドヴァンスト英語4	2						2					
		アドヴァンスト英語5	2								2			
		アドヴァンスト英語6	2									2		
		英語海外研修	2						2		2		集中	
	言 語 文 化	ド イ ツ 語	ドイツ語1			2		4						
			ドイツ語2			2			4					
		ド イ ツ 語	ドイツ語3			2			4					
			ドイツ語4			2					4			
		フ ラ ン ス 語	ドイツ語海外研修			2					2	2		集中
			フランス語1			2		4						
		フ ラ ン ス 語	フランス語2			2			4					
			フランス語3			2					4			
		フ ラ ン ス 語	フランス語4			2						4		
			フランス語海外研修			2					2	2		集中
		中 国 語	中国語1			2		4						
			中国語2			2			4					
		中 国 語	中国語3			2					4			
			中国語4			2						4		
		中 国 語	中国語海外研修			2					2	2		集中
			朝鮮語1			2		4						
		朝 鮮 語	朝鮮語2			2			4					
朝鮮語3	2					4								
朝 鮮 語	朝鮮語4	2					4							
	朝鮮語海外研修	2				2	2		集中					

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週時間数				備考						
				1年次	2年次	3年次	4年次							
				1セ×2セ× (前)'(後)	3セ×4セ× (前)'(後)	5セ×6セ× (前)'(後)	7セ×8セ× (前)'(後)							
基 本 科 目	環境思想史	2	6以上	(24以上)	(124)	2				※イ				
	日本文化史	2				2								
	平和学	2				2								
	宗教と人間	2				2								
	日本と西洋	2				2								
	日本と中国	2				2								
	日本と韓国・朝鮮	2				2								
	日本国憲法	2				2								
	世界の政治	2				2								
	文化人類学	2				2								
	都市と農村	2				2								
	民族とマイノリティ	2					2				※イ			
	ジェンダー論	2					2							
	心理学概論	2					2				※ロ			
	スポーツの歴史	2					2				※イ・ハ 集中/※ハ			
	社会とボランティア	2	2											
	ボランティア活動支援演習1	2			2		集中/※ハ							
	ボランティア活動支援演習2	2			2		集中/※ハ							
	ボランティア・インターンシップ	2			2		集中/※イ・ハ							
	日本事情	日本事情 1	②	8			2				留学生向け科目			
		日本事情 2	②				2				留学生向け科目			
		日本事情 3	②					2			留学生向け科目			
	日本語	日本語 1	①							2				留学生向け科目
		日本語 2	①							2				留学生向け科目
日本語 3		①								2			留学生向け科目	
日本語 4		①								2			留学生向け科目	
上級日本語 1		①									2		留学生向け科目	
上級日本語 2		①									2		留学生向け科目	
上級日本語 3		①										2	留学生向け科目	
上級日本語 4	①							2	留学生向け科目					
小計	140	24以上	50				60	44	36	2	2	0	0	

(2) 展開科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考			
				1年次	2年次	3年次	4年次				
				1セメ、2セメ (前)、(後)	3セメ、4セメ (前)、(後)	5セメ、6セメ (前)、(後)	7セメ、8セメ (前)、(後)				
展 開 科 目	身 体 科 学 実 習	スポーツ科学実習(陸上1)	○	25 (必修を含む) 以上	62 (124)	2				集中	
		スポーツ科学実習(器械運動1)	○			2					
		スポーツ科学実習(水泳1)	○				2				
		スポーツ科学実習(武道1)	○			2					
		スポーツ科学実習(バレー1)	○			2					
		スポーツ科学実習(サッカー1)	○			2					
		スポーツ科学実習(バスケット1)	○				2				
		スポーツ科学実習(ダンス1)	○				2				
		スポーツ科学実習(野外1)	○					2			
		スポーツ科学実習(体操)	○			2					
		スポーツ科学実習(陸上2)	1					2			
		スポーツ科学実習(器械運動2)	1					2			
		スポーツ科学実習(武道2)	1					2			
		スポーツ科学実習(バレー2)	1					2			
		スポーツ科学実習(サッカー2)	1					2			
		スポーツ科学実習(バスケット2)	1						2		
		スポーツ科学実習(ダンス2)	1						2		
		スポーツ科学実習(エアロビクス1)	1					2			
	スポーツ科学実習(エアロビクス2)	1				2					
	スポーツ科学実習(水泳2)	1				2					
	スポーツ科学実習(野外2)	1				2					
	運動プログラム実習(年代・障害別)	○			2						
	トレーニング実習	○			2						
	救急処置実習	1				2					
	身 体 基 礎 科 学	解剖・生理学	○			2					
		バイオメカニクス1	○			2					
		スポーツ生理学1	○			2					
		スポーツ栄養学	○			2					
スポーツ運動学(運動方法学を含む)		○			2						
発育発達と老化		○				2					
スポーツケア概論		○			2						
スポーツ医学内科系1(生活習慣病)		○				2					
スポーツ医学外科系1		○				2					
アダプテッドスポーツ論		○				2					
体育原理	○			2							
スポーツ心理学	○				2						

区分	科目	単位	卒業資格 最低単位数	週 時 間 数				備 考			
				1年次	2年次	3年次	4年次				
				1セム <sup>1</sup> 2セム <sup>2</sup> (前) <sup>1</sup> (後) <sup>2</sup>	3セム <sup>1</sup> 4セム <sup>2</sup> (前) <sup>1</sup> (後) <sup>2</sup>	5セム <sup>1</sup> 6セム <sup>2</sup> (前) <sup>1</sup> (後) <sup>2</sup>	7セム <sup>1</sup> 8セム <sup>2</sup> (前) <sup>1</sup> (後) <sup>2</sup>				
展 開 目 科 目	ス ポ ー ツ 健 康 科 目	スポーツ支援コース	バイオメカニクス2	2					(オムニバス方式)		
			スポーツ生理学2	2							
			トレーニングの科学②	2							
			スポーツ指導論②	2				2			
			コンディショニング論②	2				2			
			競技力向上の科学②	2				2			
		スポーツケア各論②	2				2				
		健康支援コース	労働衛生②	2				2			※□
			学校保健(小児保健、精神保健を含む)②	2				2			
			学校安全②	2				2			
			健康科学の統計学②	2				2			
			スポーツ医学外科系②	2				2			
	スポーツ医学内科系②		2				2				
	健康スポーツコース	リハビリテーション論②	2				2		※□		
		公衆衛生学②	2				2				
		スポーツ社会学②	2				2				
		スポーツビジネス論②	2				2				
		スポーツマネジメント論②	2				2				
		野外教育論②	2				2				
	学 部 共 通 科 目	健康と環境	レクリエーション概論②	2				2		※□ ※□	
			生涯スポーツ論②	2				2			
			医学一般②	2				2			
			精神医学②	2				2			
			精神保健論②	2				2			
運動指導の心理学②			2				2				
環境衛生学②			2				2				
健康栄養論②			2				2				
健康運動プログラム論②			2				2				
社会福祉論②			2				2				
情報倫理②			2				2				
生命倫理②			2				2				
学 部 共 通 科 目	キャリア教育	学習心理学②	2				2	※イ・ハ			
		ボランティアマネジメント論②	2				2				
		環境社会学②	2				2				
		生命史②	2				2				
		スポーツ文化論②	2				2				
		生涯学習論②	2				2				
		生涯学習特論②	2				2				
		社会教育計画Ⅰ②	2				2				
		社会教育計画Ⅱ②	2				2				
		社会教育課題研究Ⅰ②	2				2				
		社会教育課題研究Ⅱ②	2				2				
		特別講義A②	2				2				
特別講義B②	2				2						
小計		136	62以上	12'16	44'48	20'12	8'0	教職課程科目/※イ ※イ ※イ ※イ ※イ			

### (3) 実践科目

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

区分	科目	単位	最低 単位数	卒業 資格	週 時 間 数				備 考		
					1年次	2年次	3年次	4年次			
					1セム (前)	2セム (後)	3セム (前)	4セム (後)		5セム (前)	6セム (後)
実 践 科 目	入 門 ゼ ミ ナ ー ル	2	8 以上	4 以上	2					集 中 集 中 集 中	
	フ ィ ー ル ド 支 援 演 習 1	4				4					
	フ ィ ー ル ド 活 動 演 習 1	4				4					
	フ ィ ー ル ド 支 援 演 習 2	4				4					
	フ ィ ー ル ド 活 動 演 習 2	4				4					
	プ ロ ジ ェ ク ト 演 習	2					4				
	地 域 保 健 演 習	2					4				
	測 定 評 価 演 習	2					4				
	ス ポ ー ツ 支 援 指 導 演 習	2						4			
	ス ポ ー ツ キャ リ ア 演 習	2						2	2		
	コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 演 習 1	②			4 (必修を含む) 以上	4					集 中
	コ ン ピ ュ ー タ 基 礎 演 習 2	②				4					
	コ ン ピ ュ ー タ 応 用 演 習 1	2					4				
	コ ン ピ ュ ー タ 応 用 演 習 2	2						4			
	実 践 研 究 1	2			4 (必修を含む) 以上			4			
	実 践 研 究 2	2							4		
	実 践 研 究 3	②								4	(4)
	実 践 研 究 4	②									(4), 4
	小 計	44			16以上	6, 4	12, 16	14, 10	4, 4		
	基本科目、展開科目、実践科目合計	320			124	68, 80	102, 98	36, 24	12, 4		

## 注) 履修要件および資格支援科目について

- イ スポーツ健康学科は、履修コースにより、スポーツ支援コース、健康支援コースおよび健康・スポーツマネジメントコースに分ける。
- ロ 3つの履修コースの履修方法は、次のとおりとする。  
展開科目のスポーツ健康科目分野より、選択したコースの指定する必修科目を含む4単位以上を修得すること。  
なお、選択外のコースにおける必修科目は選択科目として取り扱う。  
(1) スポーツ支援コースを選択するものは、「トレーニングの科学」、「スポーツ指導論」を含めて4単位以上修得すること。  
(2) 健康支援コースを選択するものは、「リハビリテーション論」、「公衆衛生学」を含めて4単位以上修得すること。  
(3) 健康・スポーツマネジメントコースを選択するものは、「スポーツ社会学」、「スポーツマネジメント論」を含めて4単位以上修得すること。
- ハ 選択必修科目は、次のとおりとする。  
展開科目のスポーツ健康科目分野・身体科学実習区分の「スポーツ科学実習(水泳2)」または「スポーツ科学実習(野外2)」のどちらかを履修しなければならない。
- ニ 別に定める教職関連科目に係わる授業科目のうち、「教育哲学」、「教育心理学」、「道德教育の理論と方法」および「人権教育」の各科目は、履修し修得した単位を、基本科目区分の現代社会と文化分野の卒業要件単位に組み入れることができる。  
また、「保健体育科教育法I~IV」の各科目は、履修した単位を、展開科目区分のスポーツ健康科目の卒業要件単位に組み入れることができる。
- ホ 留学生の基本科目区分の履修要件については、次のとおりとする。  
(1) コミュニケーション英語分野については、すべての科目を選択科目として取り扱い、卒業要件最低単位の条件を除外する。  
(2) 言語文化分野については、すべての科目を選択科目として取り扱い、卒業要件最低単位の条件を除外する。  
ただし、母語を履修することができない。  
(3) 日本事情分野については、すべての科目を必修科目とし、現代社会と文化分野を含めて、6単位以上を卒業要件最低単位とする。  
(4) 日本語分野については、すべての科目を必修科目として取り扱う。
- ヘ 資格支援科目に係わる備考欄中の表記は、次のとおりとする。  
(1) ※イは、別に定める「社会教育主事」の資格取得に係わる科目  
(2) ※ロは、別に定める「社会福祉主事」の資格取得に係わる科目  
(3) ※ハは、別に定める「ボランティア・NPO講座」に係わる科目

**【資格取得に係わる科目】**

**イ. 社会教育主事**

(人間環境学部 文化コミュニケーション学科・生活環境学科・スポーツ健康学科)

社会教育主事となる資格を得ようとする者は、社会教育法第9条の4に定めるところにより、次の科目を履修しなければならない。

授 業 科 目	単 位	最 低 修 得 単 位 数	週 時 間 数				備 考	
			1年次	2年次	3年次	4年次		
			1セム,2セム (前), (後)	3セム,4セム (前), (後)	5セム,6セム (前), (後)	7セム,8セム (前), (後)		
生涯学習論	②	24		2			※○○	
生涯学習特論	②			2			※○○	
社会教育計画1	②			2			※○○	
社会教育計画2	②			2			※○○	
社会教育課題研究1	②			2			※○○	
社会教育課題研究2	②			2			※○○	
社会教育特講I (現代社会と社会教育)	環境教育論		2			2		※○△
	社会福祉論		2			2		※○○
	ジェンダー論		2		2			※○○
	人権教育		2		2			※○○
社会教育特講II (社会教育活動・ 事業・施設)	道徳教育の理論と方法		2		2			※○○
	ボランティアマネジメント論		2		2			※○○
	社会とボランティア	2	2				※○○	
社会教育特講III (その他必要な科目)	ボランティア・インターンシップ	2		2			※○○(集中)	
	宗教と人間	2		2			※○○	
	コミュニケーション論	2			2		※□△	
	文化社会学	2			2		※○△	
	比較社会論	2			2		※□△	
	教育心理学	2	2				※○○	
	教育哲学	2		2			※○○	
教育方法論	2		2					
合 計	42	24	4, 6	10, 12	8, 2	0, 0		

注)1.履修方法について

イ 単位数を○でかこんだ12単位を、必修科目とする。

ロ 選択科目を12単位とし、科目分野の社会教育特講I、社会教育特講IIおよび社会教育特講IIIの各分野にわたって履修することが望ましい。

2.備考欄中の※印は、文化コミュニケーション学科の卒業要件単位に算入される科目

3.備考欄中の○印は、生活環境学科の卒業要件単位に算入される科目

4.備考欄中の◎印は、スポーツ健康学科の卒業要件単位に算入される科目

5.備考欄中の□印は、生活環境学科の自由科目として、卒業要件単位に算入される科目

6.備考欄中の△印は、スポーツ健康学科の自由科目として、卒業要件単位に算入される科目

## ロ. 社会福祉主事

(人間環境学部 文化コミュニケーション学科・生活環境学科・スポーツ健康学科)

社会福祉主事となる資格を得ようとする者は、社会福祉法第19条の定めるところにより、次の科目を履修しなければならない。

授 業 科 目	単 位	最低修得単位数	週 時 間 数				備 考			
			1年次	2年次	3年次	4年次				
			1セメ'2セメ (前)'(後)	3セメ'4セメ (前)'(後)	5セメ'6セメ (前)'(後)	7セメ'8セメ (前)'(後)				
社 会 福 祉 論	2	6			2		※○○			
精 神 医 学	2				2		※□○			
経 済 学 の 基 礎	2			2			※○○			
心 理 学 概 論	2			2			※○○			
社 会 学 の 基 礎	2			2			※○○			
医 学 一 般	2			2			※□○			
公 衆 衛 生 学	2			2		△□○				
合 計	14	6	0	6	2	0	6	0	0	0

注) 1.履修については、3科目6単位を修得すること。

2.備考欄中の※印は、文化コミュニケーション学科の卒業要件単位に算入される科目

3.備考欄中の○印は、生活環境学科の卒業要件単位に算入される科目

4.備考欄中の◎印は、スポーツ健康学科の卒業要件単位に算入される科目

5.備考欄中の△印は、文化コミュニケーション学科の自由科目として、卒業要件単位に算入される科目

6.備考欄中の□印は、生活環境学科の自由科目として、卒業要件単位に算入される科目

## ハ. ボランティア・NPO講座

(人間環境学部 文化コミュニケーション学科・生活環境学科・スポーツ健康学科)

授 業 科 目	単 位	最低修得単位数	週 時 間 数				備 考			
			1年次	2年次	3年次	4年次				
			1セメ'2セメ (前)'(後)	3セメ'4セメ (前)'(後)	5セメ'6セメ (前)'(後)	7セメ'8セメ (前)'(後)				
社 会 と ボ ラ ン テ ィ ア	2	10	2				※			
ボ ラ ン テ ィ ア マ ネ ジ メ ン ト 論	2			2			※			
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 支 援 演 習 1	2			2			※(集中)			
ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 支 援 演 習 2	2			2			※(集中)			
ボ ラ ン テ ィ ア ・ イ ン タ ー ン シ ッ プ	2			2			※(集中)			
合 計	10	10	2	0	4	4	0	0	0	0

注) 備考欄中の※印は、当該学科の卒業要件単位に算入される科目



## 【資格支援科目】

### エアロビクダンス エクササイズ インストラクター

エアロビクダンス エクササイズ インストラクターとなる受験資格を得ようとする者は、社団法人日本フィットネス協会(厚生労働大臣認可)の定めるところにより、次の科目をすべて修得しなければならない。

授 業 科 目	単 位	最低修得単位数	週 時 間 数				備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次	
			1セメ×2セメ (前)   (後)	3セメ×4セメ (前)   (後)	5セメ×6セメ (前)   (後)	7セメ×8セメ (前)   (後)	
身 体 環 境 学 概 論	2	18	2				※
身 体 科 学 の 基 礎	2		2				※
解 剖 ・ 生 理 学	2		2				※
ス ポ ー ツ 生 理 学 1	2		2				※
ス ポ ー ツ 栄 養 学	2			2			※
ス ポ ー ツ 医 学 外 科 系 1	2				2		※
ト レ ー ニ ン グ の 科 学	2		2				※
健 康 運 動 プ ロ グ ラ ム 論	2				2		※
ス ポ ー ツ 科 学 実 習 ( エ ア ロ ビ ク ス 1 )	1			2			※
ス ポ ー ツ 科 学 実 習 ( エ ア ロ ビ ク ス 2 )	1				2		※
合 計	18	18	4   6	4   4	2   0	0   0	

注) 1.備考欄中の※印は、当該学科の卒業要件単位に算入される科目

## アクア エクササイズ インストラクター

アクア エクササイズ インストラクターとなる受験資格を得ようとする者は、社団法人日本フィットネス協会（厚生労働大臣認可）の定めるところにより、次の科目をすべて修得しなければならない。

授 業 科 目	単 位	最低修得単位数	週 時 間 数				備 考
			1年次	2年次	3年次	4年次	
			1セメ1(前)2セメ2(後)	3セメ3(前)4セメ4(後)	5セメ5(前)6セメ6(後)	7セメ7(前)8セメ8(後)	
身 体 環 境 学 概 論	2	19	2				※
身 体 科 学 の 基 礎	2		2				※
ス ポ ー ツ 科 学 実 習 ( 水 泳 1 )	1			2			集中※
解 剖 ・ 生 理 学	2			2			※
ス ポ ー ツ 生 理 学 1	2			2			※
ス ポ ー ツ 栄 養 学	2				2		※
ス ポ ー ツ 医 学 外 科 系 1	2				2		※
ト レ ー ニ ン グ の 科 学	2			2			※
健 康 運 動 プ ロ グ ラ ム 論	2					2	※
ス ポ ー ツ 科 学 実 習 ( エ ア ロ ビ ク ス 1 )	1				2		※
ス ポ ー ツ 科 学 実 習 ( エ ア ロ ビ ク ス 2 )	1				2		※
合 計	19		19	4   8	4   4	2   0	0   0

注) 1.備考欄中の※印は、当該学科の卒業要件単位に算入される科目

### 健康運動実践指導者

健康運動実践指導者となる受験資格を得ようとする者は、財団法人健康・体力づくり事業財団の定めるところにより、次の科目をすべて修得しなければならない。

授 業 科 目	単 位	週 時 間 数				備 考			
		1年次	2年次	3年次	4年次				
		1セ×12セ× (前)   (後)	3セ×4セ× (前)   (後)	5セ×6セ× (前)   (後)	7セ×8セ× (前)   (後)				
健 康 管 理 の 基 礎	2	2				※			
ス ポ ー ツ 科 学 実 習 ( 水 泳 1 )	1		2			集中※			
ス ポ ー ツ 科 学 実 習 ( ダ ン ス 2 )	1			2		※			
ス ポ ー ツ 科 学 実 習 ( 体 操 )	1	2				※			
ト レ ー ニ ン グ 実 習	1		2			※			
解 剖 ・ 生 理 学	2		2			※			
ス ポ ー ツ 生 理 学 1	2		2			※			
運 動 指 導 の 心 理 学	2			2		※			
ス ポ ー ツ 栄 養 学	2		2			※			
健 康 運 動 プ ロ グ ラ ム 論	2			2		※			
救 急 処 置 実 習	1			2		※			
測 定 評 価 演 習	2			4		※			
合 計	19	4	6	4	8	4	0	0	0

注) 備考欄中の※印は、当該学科の卒業要件単位に算入される科目

## 健康運動指導士

健康運動指導士となる受験資格を得ようとする者は、財団法人健康・体力づくり事業財団の定めるところにより、次の科目をすべて修得しなければならない。

授 業 科 目	単 位	週 時 間 数				備 考			
		1年次	2年次	3年次	4年次				
		1セメ12セメ (前)!(後)	3セメ4セメ (前)!(後)	5セメ6セメ (前)!(後)	7セメ8セメ (前)!(後)				
健 康 管 理 の 基 礎	2	2				※			
ス ポ ー ツ 科 学 実 習 (水 泳 1)	1		2			集中※			
ス ポ ー ツ 科 学 実 習 (ダ ンス 2)	1			2		※			
運 動 プ ロ グ ラ ム 実 習 (年 代 ・ 障 害 別)	1		2			※			
ト レ ー ニ ン グ 実 習	1		2			※			
救 急 処 置 実 習	1			2		※			
解 剖 ・ 生 理 学	2		2			※			
バ イ オ メ カ ニ ク ス 1	2		2			※			
ス ポ ー ツ 生 理 学 1	2		2			※			
ス ポ ー ツ 栄 養 学	2		2			※			
ス ポ ー ツ 医 学 内 科 系 1 (生 活 習 慣 病)	2			2		※			
ス ポ ー ツ 医 学 外 科 系 1	2			2		※			
運 動 指 導 の 心 理 学	2		2			※			
ト レ ー ニ ン グ の 科 学	2		2			※			
公 衆 衛 生 学	2			2		※			
健 康 運 動 プ ロ グ ラ ム 論	2			2		※			
地 域 保 健 演 習	2			4		※			
測 定 評 価 演 習	2			4		※			
合 計	31	2	8	10	8	10	0	0	0

注)備考欄中の※印は、当該学科の卒業要件単位に算入される科目

中学校教諭および高等学校教諭一種免許状・保健体育(教科に関する科目)

(○で囲んだものは教科に関する科目の必修)

教育職員免許法施行規則に定める専門教育科目区分	授業科目	単位	区分別最低修得単位数	週時間数				備考	
				1年次	2年次	3年次	4年次		
				1セ×2セ×(前)   2セ×(後)	3セ×4セ×(前)   4セ×(後)	5セ×6セ×(前)   6セ×(後)	7セ×8セ×(前)   8セ×(後)		
体育実技	スポーツ科学実習(器械運動1)	①	14	2				※	
	スポーツ科学実習(陸上1)	①		2				※	
	スポーツ科学実習(水泳1)	①			2			※	
	スポーツ科学実習(バレー1)	①		2				※	
	スポーツ科学実習(サッカー1)	①		2				※	
	スポーツ科学実習(バスケット1)	①			2			※	
	スポーツ科学実習(ダンス1)	①			2			※	
	スポーツ科学実習(器械運動2)	①				2		※	
	スポーツ科学実習(陸上2)	①				2		※	
	スポーツ科学実習(武道2)	①				2		※	
	スポーツ科学実習(ダンス2)	①				2		※	
	スポーツ科学実習(バレー2)	1				2		※	
	スポーツ科学実習(サッカー2)	1				2		※	
	スポーツ科学実習(バスケット2)	1				2		※	
	スポーツ科学実習(水泳2)	1				2		※	
	スポーツ科学実習(野外2)	1		①			2		※
「体育原理、体育史、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学」及び運動学(運動方法学を含む。)	体育原理	2	8		2			※	
	スポーツの歴史	2			2			※	
	スポーツ心理学	2				2		※	
	運動指導の心理学	2			2			※	
	スポーツマネジメント論	2				2		※	
	スポーツ社会学	2				2		※	
	スポーツ運動学	②				2		※	
生理学(運動生理学を含む。)	解剖・生理学	②	4		2			※	
	スポーツ生理学1	①			2			※	
	スポーツ生理学2	2			2			※	
衛生学及び公衆衛生学	労働衛生	2	2			2		※	
	環境衛生学	2				2		※	
	公衆衛生学	2				2		※	
学校保健(小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。)	学校保健	2	3			2		※	
	学校安全	2				2		※	
	救急処置実習	1				2		※	
合計		48		32	10, 14	12, 16	8, 6	0, 0	

注) 備考欄中の※印は、当該学科の卒業要件単位に算入される科目  
 この他に教職に関する科目を取得する必要があります。